

やくばしょくいん しばたまち しょう ちゅうがくせい みな
 役場職員から柴田町の小・中学生の皆さんへ
 ふくちようちょう み と とし み
 副町長 水戸 敏見

「感染者の差別が起きないように」

さいきん に ゆーす まいにち しんがたころ なう いる す わーど みみ がっこう
 最近、ニュースで毎日「新型コロナウイルス」というワードを耳にする。学校の
 せんせい がかかると きゅうこう に、こ どもがかかると ほごしゃかい おこな
 先生がかかると休校に、子どもがかかると保護者会が行われたりするそうだ。
 いちど かかってしまうと しゅうい ちゅうめい 目で見られるともきいた。また、かんせんしゃ
 一度かかってしまうと周囲からは冷たい目で見られるとも聞いた。また、感染者が
 に ゆーす しんぶん おお と あ ようす み
 だとニュースや新聞などで大きく取り上げられる。その様子を見て、ぼくは「お
 かしいな」と感じるようになった。

なぜかという、いんふるえんざ と同じような かんせんしょう 感染症なのに、いちど
 一度それにかかると まわ から差別を受けているような気がするからだ。それは じんけんもんだい
 人権問題にもかかわるのではないか。つまり、メディアで大きく取り上げ、人々の間で恐怖と不安
 をうむ。それをまた、メディアが取り上げるといふ すばいらいる が、にほん
 日本をとりまいてるのではないか。感染しても ぬるめい 温かい目で見えてあげてほしいなと思
 う。 (福岡県筑后市・中学生)

ふくおかけん す ちゅうがくせい がっこうしんぶん よ ぶんしょう むね あつ
 福岡県に住む中学生が、学校新聞に寄せた文章です。胸が熱くなりました。
 いぎりす てれびに ゆーす ちりょう お きたく ひと きんりん かた たちが かい
 イギリスのテレビニュースで、治療を終え帰宅する人を、近隣の方たちが「お帰
 りなさい」と ぬるめい 温かく出迎える様子が伝えられていました。「ウイルス感染症に罹
 った人が悪いんじゃない。忌避すべきはウイルスなんだ」ということを ころ きざ
 心に刻まなければ おも 思います。これだけの厄災です。いつ すぐ 身近に感染者が発生してもしか
 たありません。でも 多くは、ほんにん なん お 落ち度もないはず
 です。みんなで、しゃかいで、じょうきよう う 受け入れ、そして手
 助けをしあいながら かんせんしょう 感染症の収束を待つ。それ以外、手立
 てはありません。「正しく恐れる」ということは たいへん 難しいこ
 とです。「わからない」ことを むやみに 恐れしたり、ごまかし
 て 安心してしよう とすることこそ、いちばんきけん 一番危険なことだと知るべ
 きです。がくしゅう 学習するしかないのだと思います。コロナウイルスとは どういう せいしつ
 性質の 物で、人は、しゃかいは、どんな えいきよう う 影響を受けざるをえないのか。どうなれば 安心して
 できるのか、またそれは どういうことによって はんだん 判断出来るのか。みんなで かんが
 えていかなければなりません。「正しく安心して」そんな日も近いはずです。



じかい ふなはざまくにのりきょういくちよう
 次回は、船迫邦則教育長です。